

平成 26 年

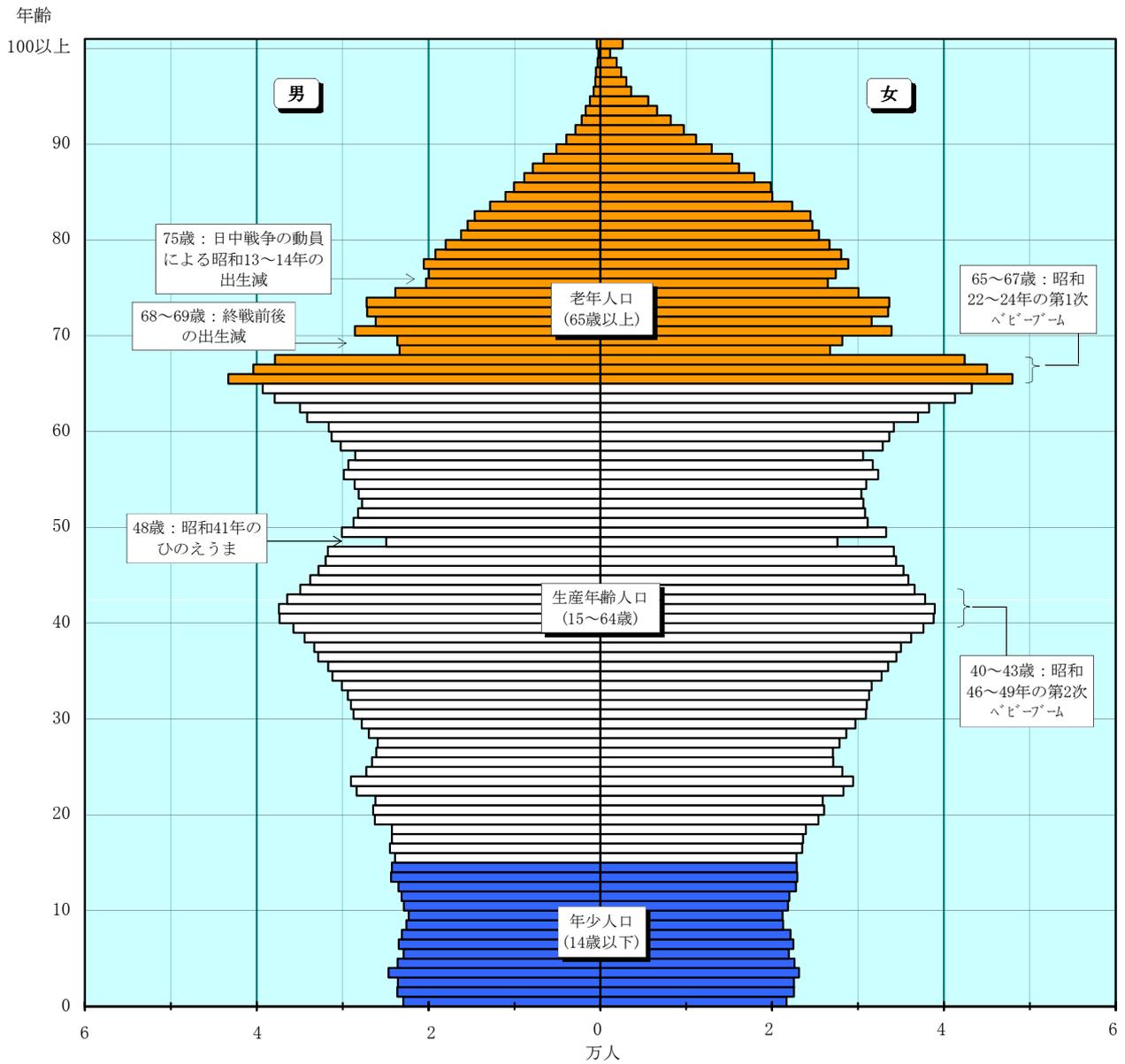
福岡県の人口と世帯年報

—福岡県人口移動調査結果報告(平成 25 年 10 月～26 年 9 月)—

福 岡 県

福岡県の人口ピラミッド

—平成26年10月1日現在—



第1 人口と世帯

1 人口の動向

(1) 総人口

平成26年10月1日現在の総人口は5,092,513人

総人口の50.45%を占める福岡地域

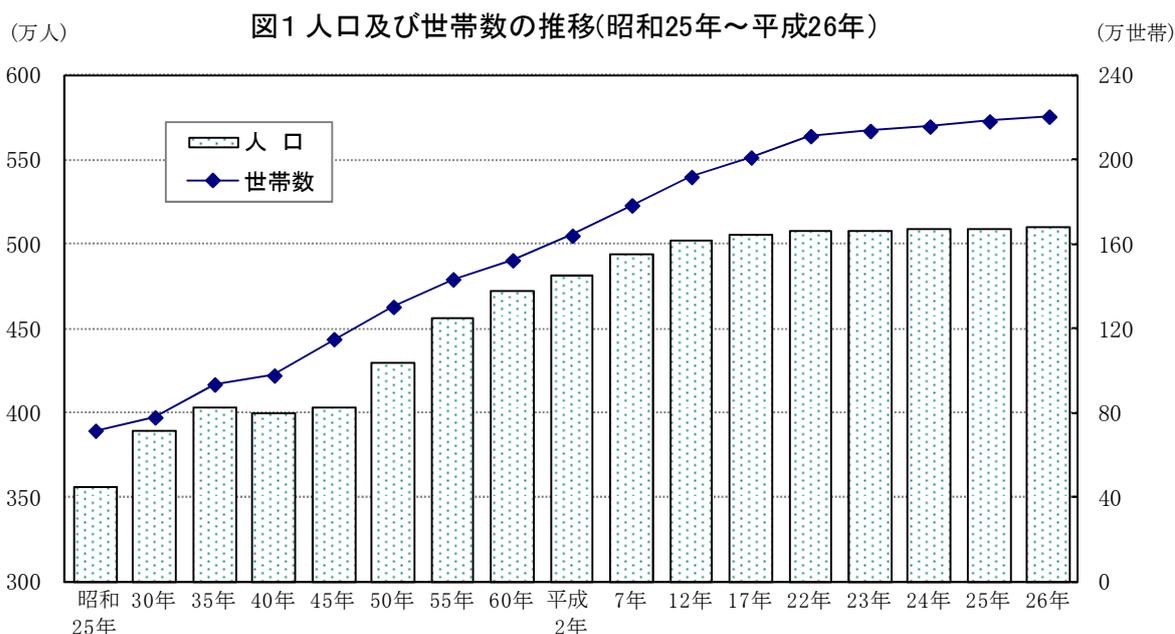
平成26年10月1日現在の福岡県の総人口は5,092,513人で、1年間(平成25年10月1日～26年9月30日)に1,801人(0.04%)増加した。(表1, 図1)

人口を男女別にみると、男性は2,404,110人、女性は2,688,403人で、性比(女性100人に対する男性の数)は89.43となり、前年と比べ0.04ポイント上昇している。

また、地域別にみると、福岡地域が2,569,111人(総人口の50.45%)で最も多く、以下、北九州地域が1,286,542人(同25.26%)、筑後地域が816,362人(同16.03%)、筑豊地域が420,498人(同8.26%)となっている。

表1 総人口、構成比 前年比較

	総人口(人)		構成比(%)		対前年差	
	26年	25年	26年	25年	人口	構成比
福岡県	5,092,513	5,090,712	100.00	100.00	1,801	—
(男)	2,404,110	2,402,726	47.21	47.20	1,384	0.01
(女)	2,688,403	2,687,986	52.79	52.80	417	-0.01
市部	4,437,098	4,434,621	87.13	87.11	2,477	0.02
郡部	655,415	656,091	12.87	12.89	-676	-0.02
福岡地域	2,569,111	2,552,388	50.45	50.14	16,723	0.31
筑後地域	816,362	820,601	16.03	16.12	-4,239	-0.09
筑豊地域	420,498	424,326	8.26	8.34	-3,828	-0.08
北九州地域	1,286,542	1,293,397	25.26	25.41	-6,855	-0.15



(2) 市町村別人口

人口は福岡市がトップ

総人口を市町村別にみると、福岡市（1,519,349人）及び北九州市（963,259人）の2市で福岡県全体の5割近くを占めており、以下久留米市（302,768人）、飯塚市（129,733人）、大牟田市（118,029人）の順に続いている。（表2）

表2 人口及び構成比順位(市町村)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,519,349	29.83
2	北九州市	963,259	18.92
3	久留米市	302,768	5.95
4	飯塚市	129,733	2.55
5	大牟田市	118,029	2.32
6	春日市	109,587	2.15
7	筑紫野市	101,384	1.99
8	大野城市	97,917	1.92
9	糸島市	97,313	1.91
10	宗像市	96,692	1.90

(3) 人口密度

人口密度は、春日市がトップ

本県の1km²当たりの人口は、1,021.3人となっており、市町村別にみると、春日市が7,744.7人で最も高く、以下、志免町が5,221.9人、福岡市が4,424.7人となっている。（表3）

表3 人口密度順位(市町村)

順位	人口密度(人/km ²)	
1	春日市	7,744.7
2	志免町	5,221.9
3	福岡市	4,424.7
4	大野城市	3,641.4
5	粕屋町	3,127.3
6	中間市	2,663.9
7	水巻町	2,635.2
8	太宰府市	2,432.2
9	北九州市	1,958.0
10	須恵町	1,657.9

2 年齢別人口

進む人口の高齢化

本県人口の平均年齢は45.4歳で、前年(45.2歳)に比べ0.2歳上昇した。

人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が684,810人(県人口の13.5%)、生産年齢人口(15～64歳)が3,103,621人(同61.4%)、老年人口(65歳以上)が1,268,659人(同25.1%)となっている。

1年間に、年少人口は269人、生産年齢人口は46,923人それぞれ減少したが、老年人口は49,219人増加している。(表4)

また、人口構成比でみると、年少人口は0.01ポイント、生産年齢人口は0.95ポイントそれぞれ減少したのに対し、老年人口は0.96ポイント増加した。

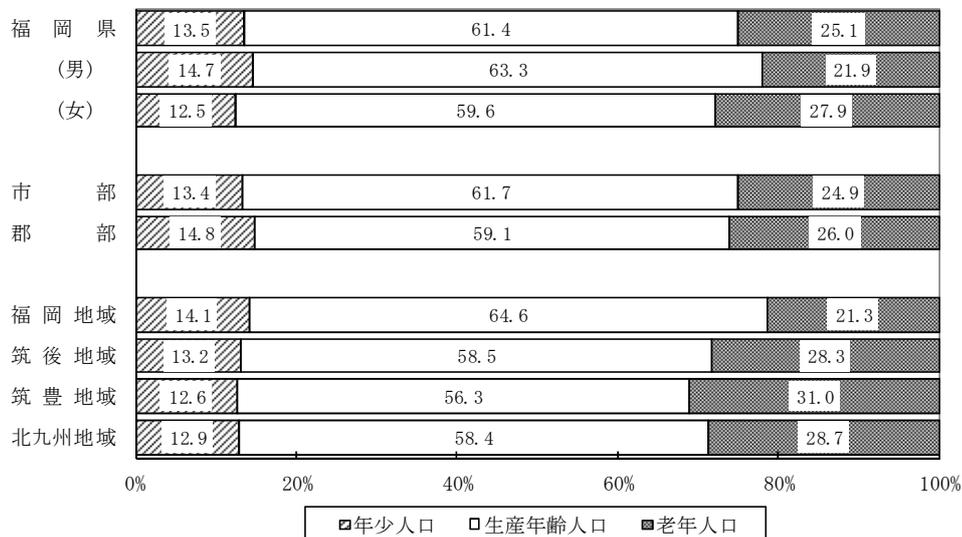
表4 年齢(3区分)別人口(平成7年～平成26年)

年次		平成26年	平成25年	平成22年	平成17年	平成12年	平成7年
人 口(人)	総 数	5,092,513	5,090,712	5,071,968	5,049,908	5,015,699	4,933,393
	年少人口 (0～14歳)	684,810	685,079	684,124	701,195	742,740	815,170
	生産年齢人口 (15～64歳)	3,103,621	3,150,544	3,227,932	3,326,610	3,393,080	3,382,470
	老年人口 (65歳以上)	1,268,659	1,219,440	1,123,376	997,798	870,290	728,574
構成比(%)	年少人口	13.5	13.6	13.6	14.0	14.8	16.5
	生産年齢人口	61.4	62.3	64.1	66.2	67.8	68.7
	老年人口	25.1	24.1	22.3	19.9	17.4	14.8
前年差(人)	年少人口	-269	-	-	-	-	-
	生産年齢人口	-46,923	-	-	-	-	-
	老年人口	49,219	-	-	-	-	-

注) 総数には「年齢不詳」を含む。構成比には「年齢不詳」を含まない。
平成7年～平成22年は総務省統計局「国勢調査」による。

地域別にみると、生産年齢人口割合が64.6%と最も高い福岡地域で、老年人口割合が最も低い21.3%となっている。一方、生産年齢人口割合が56.3%と最も低い筑豊地域では、老年人口割合が最も高い31.0%となっており、県内地域間で年齢構造が異なっている。(図2)

図2 年齢(3区分)別人口割合



注) 割合には「年齢不詳」を含まない。

3 世帯の動向

総世帯数は2,203,110世帯

平成26年10月1日現在の総世帯数は2,203,110世帯で、1年間に22,191世帯(1.02%)増加しているが、1世帯当たり人員は2.31人となっており、前年に比べ、0.02人減少している。(表5)

表5 世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	26年	25年	26年	25年
福岡県	2,203,110	2,180,919	2.31	2.33
市部	1,952,403	1,932,399	2.27	2.29
郡部	250,707	248,520	2.61	2.64
福岡地域	1,157,109	1,140,176	2.22	2.24
筑後地域	310,141	307,548	2.63	2.67
筑豊地域	174,351	173,956	2.41	2.44
北九州地域	561,509	559,239	2.29	2.31

市町村別に世帯数をみると、福岡市が754,433世帯(総世帯の34.2%)で最も多く、次いで北九州市の429,568世帯(同19.5%)、久留米市の122,162世帯(同5.5%)と上位3市で世帯全体の約6割を占めている。(表6)

1世帯当たり人員をみると、最も多いのは大木町の3.06人で、次いで久山町の3.03人となっており、上位10市町村中7市町が筑後地域となっている。

表6 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
	市町村	世帯数	市町村	人員
1	福岡市	754,433	大木町	3.06
2	北九州市	429,568	久山町	3.03
3	久留米市	122,162	大刀洗町	3.02
4	飯塚市	55,395	筑前町	3.01
5	大牟田市	49,883	みやま市	2.94
6	春日市	43,433	うきは市	2.93
7	筑紫野市	39,802	八女市	2.91
8	宗像市	39,011	柳川市	2.88
9	大野城市	38,956	宇美町	2.87
10	糸島市	35,648	広川町	2.86

第2 人口動態

1 人口増加数

1年間に1,801人(0.04%)増加

1年間(平成25年10月1日～26年9月30日)の総人口の増加1,801人(0.04%)の内訳は、自然増加が-3,686人(-0.07%)、社会増加が5,487人(0.11%)となっており、社会増加が自然増加を上回った。

地域別にみると、1年間に人口が増加したのは福岡地域のみであり、他の地域では人口減少が続いている。(表7, 表8, 表9, 図3)

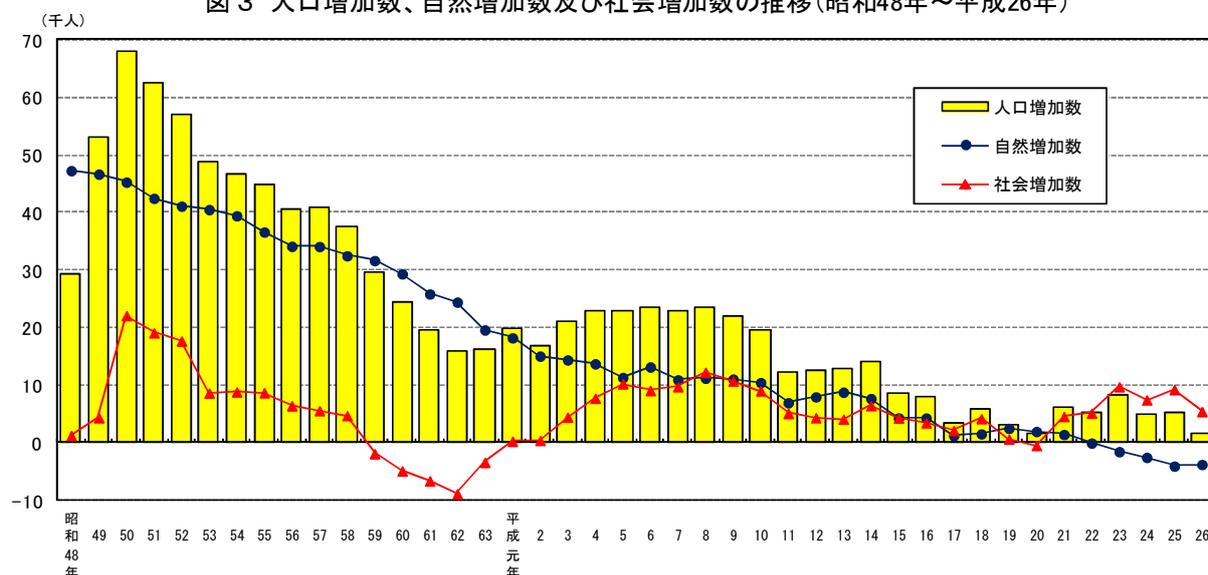
表7 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(25年10月1日～26年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	26年	25年	26年	25年	26年	25年
福岡県	1,801	5,344	-3,686	-3,965	5,487	9,309
(男)	1,384	3,028	-1,207	-1,704	2,591	4,732
(女)	417	2,316	-2,479	-2,261	2,896	4,577
市部	2,477	5,884	-3,029	-3,342	5,506	9,226
郡部	-676	-540	-657	-623	-19	83
福岡地域	16,723	18,836	5,272	5,187	11,451	13,649
筑後地域	-4,239	-4,069	-2,846	-2,928	-1,393	-1,141
筑豊地域	-3,828	-3,805	-2,320	-2,392	-1,508	-1,413
北九州地域	-6,855	-5,618	-3,792	-3,832	-3,063	-1,786

表8 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(25年10月1日～26年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	26年	25年	26年	25年	26年	25年
福岡県	0.04	0.11	-0.07	-0.08	0.11	0.18
(男)	0.06	0.13	-0.05	-0.07	0.11	0.20
(女)	0.02	0.09	-0.09	-0.08	0.11	0.17
市部	0.06	0.13	-0.07	-0.08	0.12	0.21
郡部	-0.10	-0.08	-0.10	-0.09	-0.00	0.01
福岡地域	0.66	0.74	0.21	0.20	0.45	0.54
筑後地域	-0.52	-0.49	-0.35	-0.36	-0.17	-0.14
筑豊地域	-0.90	-0.89	-0.55	-0.56	-0.36	-0.33
北九州地域	-0.53	-0.43	-0.29	-0.29	-0.24	-0.14

図3 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和48年～平成26年)



増加数は福岡市がトップ、増加率は新宮町がトップ

人口増加数を市町村別にみると、福岡市が13,036人で最も多く、以下、新宮町が1,356人、福津市が1,072人となっている。また、人口増加率では新宮町が4.89%と最も高く、以下、福津市が1.88%、粕屋町が1.24%となっている。(表9)

表9 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(25年10月1日～26年9月30日)

人口増加数(人)						人口増加率(%)					
順位	26年		順位	25年		順位	26年		順位	25年	
1	福岡市	13,036	1	福岡市	14,059	1	新宮町	4.89	1	新宮町	4.32
2	新宮町	1,356	2	新宮町	1,149	2	福津市	1.88	2	粕屋町	1.76
3	福津市	1,072	3	福津市	893	3	粕屋町	1.24	3	福津市	1.59
4	春日市	711	4	春日市	852	4	福岡市	0.87	4	須恵町	1.12
5	粕屋町	540	5	大野城市	819	5	筑前町	0.74	5	福岡市	0.94
6	太宰府市	367	6	粕屋町	757	6	春日市	0.65	6	大野城市	0.85
7	大野城市	338	7	久留米市	463	7	須恵町	0.58	7	春日市	0.79
8	久留米市	307	8	太宰府市	376	8	太宰府市	0.51	8	太宰府市	0.53
9	宗像市	299	9	須恵町	298	9	大刀洗町	0.38	9	久山町	0.46
10	筑紫野市	221	10	宗像市	260	10	大野城市	0.35	10	志免町	0.33

2 自然増加数

1年間に3,686人(0.07%)減少

1年間の自然増加数は-3,686人(出生者45,774人、死亡者49,460人)で、自然増加率は-0.07%であった。前の1年間に比べると、出生者数は373人、死亡者数は652人それぞれ減少となった。地域別にみると、福岡地域のみ増加となっており、他の地域は全て減少している。(表10、表11)

表10 自然増加数及び出生・死亡者数(25年10月1日～26年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	26年	25年	26年	25年	26年	25年
福岡県	-3,686	-3,965	45,774	46,147	49,460	50,112
(男)	-1,207	-1,704	23,539	23,624	24,746	25,328
(女)	-2,479	-2,261	22,235	22,523	24,714	24,784
市部	-3,029	-3,342	39,530	39,895	42,559	43,237
郡部	-657	-623	6,244	6,252	6,901	6,875
福岡地域	5,272	5,187	25,037	25,013	19,765	19,826
筑後地域	-2,846	-2,928	6,733	6,813	9,579	9,741
筑豊地域	-2,320	-2,392	3,437	3,442	5,757	5,834
北九州地域	-3,792	-3,832	10,567	10,879	14,359	14,711

表11 自然増加率及び出生・死亡率(25年10月1日～26年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	26年	25年	26年	25年	26年	25年
福岡県	-0.07	-0.08	8.99	9.07	9.72	9.85
(男)	-0.05	-0.07	9.80	9.84	10.30	10.55
(女)	-0.09	-0.08	8.27	8.39	9.19	9.23
市部	-0.07	-0.08	8.91	9.01	9.60	9.76
郡部	-0.10	-0.09	9.52	9.52	10.52	10.47
福岡地域	0.21	0.20	9.81	9.87	7.74	7.83
筑後地域	-0.35	-0.36	8.20	8.26	11.67	11.81
筑豊地域	-0.55	-0.56	8.10	8.04	13.57	13.63
北九州地域	-0.29	-0.29	8.17	8.37	11.10	11.32

出生・死亡者数の推移をみると、出生者数はこのところ横ばいであるが、死亡者数は増加傾向にある。死亡者数が出生者数を上回った平成23年以降は自然減少が続いている。(図4)

また、市町村別にみると、自然増加数は福岡市(3,887人)が最も多く、自然増加率は粕屋町(0.99%)が最も高くなっている。(表12)

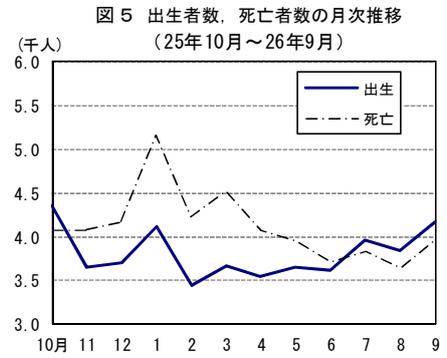
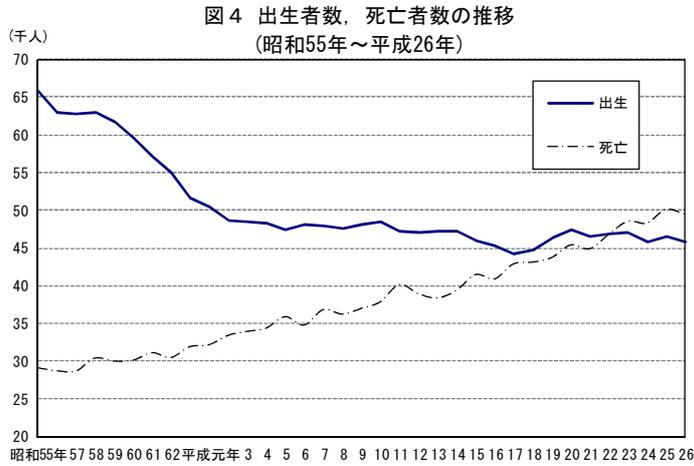


表12 自然増加数及び自然増加率順位(市町村) (25年10月1日～26年9月30日)

自然増加数(人)					自然増加率(%)						
順位	26年		順位	25年		順位	26年		順位	25年	
1	福岡市	3,887	1	福岡市	3,765	1	粕屋町	0.99	1	粕屋町	1.02
2	大野城市	439	2	大野城市	527	2	新宮町	0.75	2	新宮町	0.65
3	粕屋町	432	3	粕屋町	439	3	志免町	0.56	3	大野城市	0.54
4	春日市	319	4	春日市	310	4	大野城市	0.45	4	那珂川町	0.44
5	志免町	252	5	那珂川町	218	5	春日市	0.29	5	志免町	0.39
6	筑紫野市	215	6	志免町	176	6	福岡市	0.26	6	春日市	0.29
7	新宮町	207	7	新宮町	173	7	那珂川町	0.22	7	福岡市	0.25
8	那珂川町	111	8	筑紫野市	171	8	筑紫野市	0.21	8	苅田町	0.24
9	太宰府市	110	9	太宰府市	96	9	篠栗町	0.21	9	須恵町	0.23
10	篠栗町	66	10	苅田町	87	10	太宰府市	0.15	10	筑紫野市	0.17

3 社会増加数

1年間に5,487人(0.11%)増加

1年間の社会増加数は5,487人(転入者277,721人, 転出者272,234人)で、社会増加率は0.11%であった。前の1年間に比べると、転入者数は4,644人, 転出者数は822人それぞれ減少となった。地域別にみると、社会増となったのは自然増と同様に福岡地域のみである。(表13, 表14)

表13 社会増加数及び転入・転出者数(25年10月1日～26年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	26年	25年	26年	25年	26年	25年
福岡県	5,487	9,309	277,721	282,365	272,234	273,056
(男)	2,591	4,732	143,936	146,563	141,345	141,831
(女)	2,896	4,577	133,785	135,802	130,889	131,225
市部	5,506	9,226	245,627	249,674	240,121	240,448
郡部	-19	83	32,094	32,691	32,113	32,608
福岡地域	11,451	13,649	175,052	177,798	163,601	164,149
筑後地域	-1,393	-1,141	29,612	30,021	31,005	31,162
筑豊地域	-1,508	-1,413	14,978	15,152	16,486	16,565
北九州地域	-3,063	-1,786	58,079	59,394	61,142	61,180

表14 社会増加率及び転入・転出率(25年10月1日～26年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	26年	25年	26年	25年	26年	25年
福岡県	0.11	0.18	5.46	5.55	5.35	5.37
(男)	0.11	0.20	5.99	6.11	5.88	5.91
(女)	0.11	0.17	4.98	5.06	4.87	4.89
市	0.12	0.21	5.54	5.64	5.41	5.43
郡	-0.00	0.01	4.89	4.98	4.89	4.97
福岡地域	0.45	0.54	6.86	7.02	6.41	6.48
筑後地域	-0.17	-0.14	3.61	3.64	3.78	3.78
筑豊地域	-0.36	-0.33	3.53	3.54	3.89	3.87
北九州地域	-0.24	-0.14	4.49	4.57	4.73	4.71

転入・転出者数の推移をみると、平成8年以降減少傾向にあったが、ここ数年は横ばいとなっている。(図6)

また、市町村別にみると、社会増加数は福岡市(9,149人)が最も多く、社会増加率は新宮町(4.14%)が最も高くなっている。(表15)

図6 転入者数、転出者数の推移
(昭和55年～平成26年)

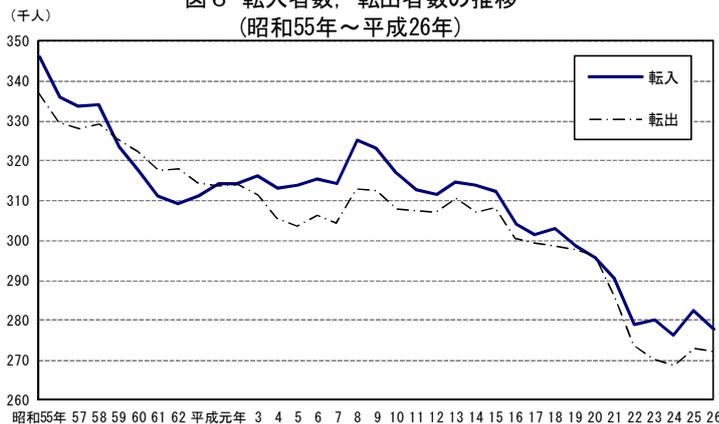


図7 転入者数、転出者数の月次推移
(25年10月～26年9月)

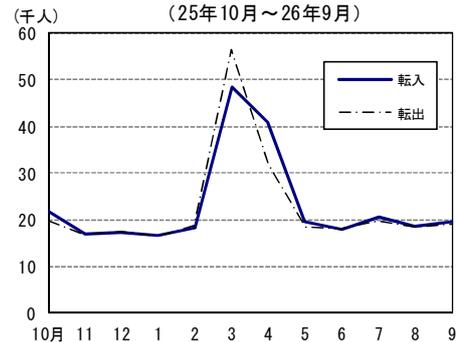


表15 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(25年10月1日～26年9月30日)

社会増加数(人)					社会増加率(%)						
順位	26年		順位	25年		順位	26年		順位	25年	
1	福岡市	9,149	1	福岡市	10,294	1	新宮町	4.14	1	新宮町	3.67
2	福津市	1,172	2	福津市	1,004	2	福津市	2.06	2	福津市	1.79
3	新宮町	1,149	3	新宮町	976	3	筑前町	0.83	3	須恵町	0.89
4	春日市	392	4	春日市	542	4	福岡市	0.61	4	久山町	0.80
5	久留米市	354	5	久留米市	528	5	須恵町	0.54	5	粕屋町	0.74
6	宗像市	335	6	宗像市	351	6	赤村	0.48	6	福岡市	0.69
7	太宰府市	257	7	粕屋町	318	7	大刀洗町	0.40	7	春日市	0.50
8	筑前町	242	8	大野城市	292	8	春日市	0.36	8	筑前町	0.44
9	須恵町	146	9	太宰府市	280	9	太宰府市	0.36	9	岡垣町	0.43
10	行橋市	115	10	須恵町	237	10	宗像市	0.35	10	太宰府市	0.39

4 移動者の状況

表16 県内・県外移動者数の推移(平成元年～平成26年)

(1) 移動者数の状況

移動者数は 378,946 人

1年間の移動者数をみると、県内移動者(県内各市町村からの転入者)が158,763人、県外移動者(県外からの転入者と県外への転出者の合計)が220,183人で、これらを合わせた移動者総数は378,946人となっている。

(表16)

移動者数を年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の66,648人(構成比17.6%)が最も多く、以下、25～29歳の66,119人(同17.4%)、30～34歳の50,911人(同13.4%)の順となっている。(表17)

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
平成元年	431,654	187,975	122,807	120,872
2	429,787	187,349	122,023	120,415
3	432,155	186,133	125,427	120,595
4	429,135	181,499	128,356	119,280
5	424,459	184,634	125,833	113,992
6	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059
14	431,674	178,242	129,510	123,922
15	429,967	180,176	126,537	123,254
16	420,844	173,240	125,160	122,444
17	417,847	172,006	123,672	122,169
18	418,073	172,691	124,058	121,324
19	415,146	170,805	121,761	122,580
20	411,048	170,474	119,677	120,897
21	401,922	165,509	119,162	117,251
22	383,159	161,737	112,472	108,950
23	384,594	159,548	116,958	108,088
24	379,510	156,175	115,427	107,908
25	382,882	159,416	117,138	106,328
26	378,946	158,763	113,565	106,618

注) 平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表17 年齢(5歳階級)別移動者数(25年10月1日～26年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比(%)	県内移動(a)	県外移動(b)+(c)	総数	県内(a)	県外(b)	総数	県内	県外(c)
総数	378,946	100.0	158,763	220,183	277,721	158,763	113,565	272,234	159,165	106,618
0～4	28,671	7.6	12,988	15,683	21,238	12,988	7,965	20,950	13,044	7,718
5～9	14,443	3.8	5,538	8,905	10,264	5,538	4,618	9,959	5,572	4,287
10～14	7,706	2.0	2,974	4,732	5,575	2,974	2,528	5,257	2,986	2,204
15～19	21,122	5.6	6,884	14,238	15,512	6,884	8,238	13,132	6,965	6,000
20～24	66,648	17.6	22,012	44,636	46,198	22,012	23,071	45,157	22,101	21,565
25～29	66,119	17.4	28,460	37,659	48,048	28,460	18,847	49,048	28,505	18,812
30～34	50,911	13.4	23,236	27,675	37,690	23,236	13,890	37,909	23,233	13,785
35～39	35,549	9.4	15,663	19,886	26,238	15,663	10,160	25,860	15,697	9,726
40～44	24,806	6.5	10,049	14,757	17,930	10,049	7,538	17,648	10,103	7,219
45～49	15,695	4.1	6,431	9,264	11,375	6,431	4,666	11,288	6,423	4,598
50～54	11,377	3.0	4,914	6,463	8,558	4,914	3,394	8,224	4,927	3,069
55～59	9,153	2.4	4,210	4,943	7,003	4,210	2,599	6,712	4,205	2,344
60～64	8,066	2.1	4,181	3,885	6,529	4,181	2,115	6,113	4,183	1,770
65～69	5,185	1.4	2,877	2,308	4,242	2,877	1,197	4,087	2,871	1,111
70～74	3,467	0.9	2,082	1,385	2,906	2,082	725	2,785	2,080	660
75～79	2,815	0.7	1,715	1,100	2,339	1,715	575	2,267	1,713	525
80～84	3,098	0.8	1,876	1,222	2,542	1,876	628	2,493	1,877	594
85～89	2,614	0.7	1,621	993	2,214	1,621	566	2,071	1,626	427
90～94	1,156	0.3	792	364	1,007	792	198	971	796	166
95～99	292	0.1	222	70	262	222	37	257	221	33
100歳以上	53	0.0	38	15	49	38	10	42	37	5
不詳	0	0.0	0	0	2	0	0	4	0	0

注1) 転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。

注2) 県内転入者と県内転出者は本来一致するものであるが、届出時期の関係等で一致しないため、県内転入者=県内移動者としている

(2) 県内移動

1年間の県内移動者数は158,763人となっている。年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の28,460人(構成比17.9%)が最も多く、以下、30～34歳の23,236人(同14.6%)、20～24歳の22,012人(同13.9%)と続いている。(表17)

県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者が97,720人と最も多く、次いで北九州地域の35,813人、筑後地域の14,631人、筑豊地域の10,599人となっている。地域間移動をみると同一域内以外では、筑後地域から福岡地域への移動が40.3%と最も高くなっている。(表18)

表18 県内地域間移動(25年10月1日～26年9月30日)

		移動先住所地別県内移動者数(人)					移動先住所地別割合(%)				
		県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
従前住所 地	県計	158,763	97,720	14,631	10,599	35,813	100.0	61.6	9.2	6.7	22.6
	福岡地域	93,579	79,964	5,347	2,179	6,089	100.0	85.5	5.7	2.3	6.5
	筑後地域	15,621	6,303	8,154	327	837	100.0	40.3	52.2	2.1	5.4
	筑豊地域	11,920	3,347	310	5,982	2,281	100.0	28.1	2.6	50.2	19.1
	北九州地域	37,643	8,106	820	2,111	26,606	100.0	21.5	2.2	5.6	70.7

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

(3) 県外移動

1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は220,183人となっている。このうち、転入者が113,565人、転出者が106,618人で、6,947人の転入超過となっている。

また県外移動者の地域別構成比をみると、最も高い福岡地域の64.0%に対し、最も低い筑豊地域では3.7%となっている。(表19)

年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の44,636人(構成比20.3%)が最も多く、以下、25～29歳の37,659人(同17.1%)、30～34歳の27,675人(12.6%)と続いている。(表17)

表19 地域別県外移動者数及び構成比
(25年10月1日～26年9月30日)

	県外移動者数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	220,183	100.0	113,565	100.0	106,618	100.0
市	200,432	91.0	103,618	91.2	96,814	90.8
郡	19,751	9.0	9,947	8.8	9,804	9.2
福岡地域	140,875	64.0	75,065	66.1	65,810	61.7
筑後地域	28,886	13.1	14,379	12.7	14,507	13.6
筑豊地域	8,124	3.7	4,041	3.6	4,083	3.8
北九州地域	42,298	19.2	20,080	17.7	22,218	20.8

(4) 住所地別にみた県外転入・県外転出

転入者は国外、転出者は東京都が最多

住所地別に県外からの転入者の内訳をみると、国外からの転入で13,712人、次いで東京都の10,014人、長崎県の9,108人の順となっており、県外への転出先の内訳では、東京都の14,290人、熊本県の7,743人、国外の7,182人の順となっている。(表20、表21)

表20 従前住所地別県外転入者順位
(25年10月1日～26年9月30日)

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	113,565	100.0
1	国外	13,712	12.1
2	東京都	10,014	8.8
3	長崎県	9,108	8.0
4	熊本県	8,940	7.9
5	佐賀県	7,271	6.4
6	大分県	7,254	6.4
7	鹿児島県	6,189	5.4
8	大阪府	5,743	5.1
9	山口県	5,030	4.4
10	神奈川県	4,910	4.3

表21 移動後住所地別県外転出者順位
(25年10月1日～26年9月30日)

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	106,618	100.0
1	東京都	14,290	13.4
2	熊本県	7,743	7.3
3	国外	7,182	6.7
4	長崎県	6,522	6.1
5	佐賀県	6,463	6.1
6	大阪府	6,206	5.8
7	神奈川県	5,976	5.6
8	大分県	5,927	5.6
9	鹿児島県	4,799	4.5
10	愛知県	4,195	3.9

筑後地域、北九州地域で顕著な隣接県との移動

住所地別転出入を地域別にみると、県外からの転入者は、福岡地域では国外の9,076人、筑後地域では国外の2,718人、筑豊地域では国外の568人、北九州地域では山口県の2,109人が最も多くなっている。(表22)

県外への転出者は、福岡地域では東京都の10,071人、筑後地域では佐賀県の1,978人、筑豊地域では東京都の499人、北九州地域では東京都の2,302人が最も多くなっている。(表23)

4地域とも九州各県や東京都、国外からの移動が多いが、特に筑後地域の佐賀県や熊本県、北九州地域の山口県や大分県など、その地域と隣接する県との間の移動が多くなっている。

表22 地域別転入者の従前の住所地順位(25年10月1日～26年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)
1	国外	9,076	国外	2,718	国外	568	山口県	2,109
2	東京都	7,438	熊本県	1,818	長崎県	318	大分県	1,839
3	長崎県	6,772	佐賀県	1,806	大分県	299	東京都	1,447
4	熊本県	5,804	長崎県	919	東京都	287	国外	1,350
5	佐賀県	4,627	東京都	842	大阪府	238	熊本県	1,107
6	鹿児島県	4,542	大分県	754	熊本県	211	長崎県	1,099
7	大分県	4,362	鹿児島県	634	佐賀県	207	大阪府	1,043
8	大阪府	3,982	神奈川県	565	山口県	197	神奈川県	959
9	神奈川県	3,238	大阪府	480	鹿児島県	175	鹿児島県	838
10	宮崎県	2,904	宮崎県	407	愛知県	165	広島県	809

表23 地域別転出者の移動後住所地順位(25年10月1日～26年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)
1	東京都	10,071	佐賀県	1,978	東京都	499	東京都	2,302
2	熊本県	4,629	熊本県	1,790	国 外	312	大分県	1,852
3	長崎県	4,520	東京都	1,418	大阪府	269	国 外	1,663
4	大阪府	4,227	国 外	1,056	長崎県	267	山口県	1,651
5	国 外	4,151	長崎県	812	大分県	265	神奈川県	1,290
6	神奈川県	3,880	大分県	670	熊本県	222	大阪府	1,105
7	佐賀県	3,644	大阪府	605	神奈川県	212	熊本県	1,102
8	鹿児島県	3,461	神奈川県	594	佐賀県	186	愛知県	1,059
9	大分県	3,140	千葉県	584	愛知県	180	長崎県	923
10	愛知県	2,440	愛知県	516	千葉県	177	千葉県	892